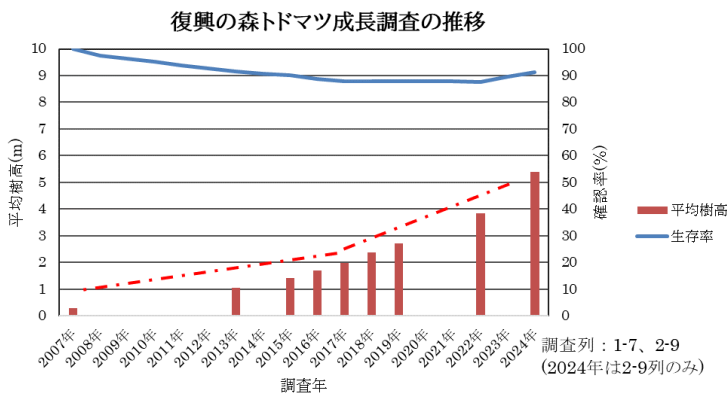
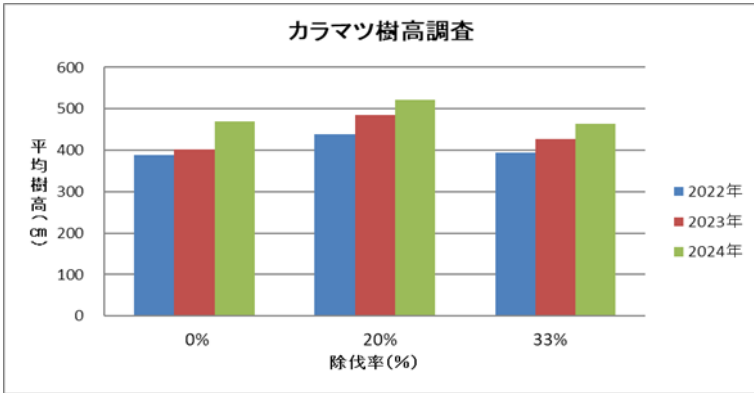
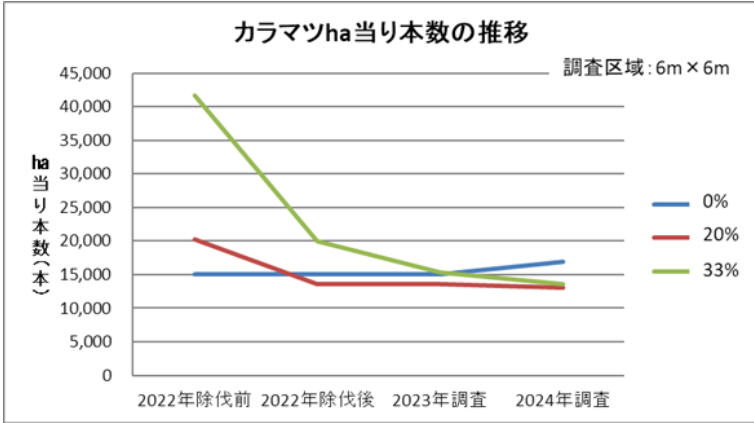


支笏湖（ぶんぶん・復興の森） 生長調査

2024/6/25-26

6月25、26日にぶんぶん・復興(協会独自)の森で生長調査を行ってきましたので報告します。



生長調査は2-9列のトドマツ53本を対象に樹高を計測し過去の結果との推移を表に示します。植栽後17年を経て一段と生長したようです。また、トドマツの下枝が重なり、林内作業が難しくなってきたので2列の下枝刈りを試験的にを行い、見通しが良くなりました。今後も数年置きに訪れ生長を確認したいと思っています。

【ぶんぶんの森】

ここは苫小牧市国有林胆振東部地区1355林班で、2004年の台風により大きな被害を受け、2009年から当会が北海道新聞社と覚書を結び育林活動支援を継続してきました。しかしながら植林したトドマツを凌駕する勢いでカラマツが自生し、大きく成長しています。2021年秋に胆振東部森林管理署、道新それに当会の関係者が現地で打合せをし、当面はカラマツに人手を入れずに、生長を見守ることとしました。自生した苗の動向を確認するために、標準列をH23Aに設定しました。調査区のカラマツ1ha当り本数と代表木各20本の樹高を調査し、その結果をグラフに示します。

ha当り本数は、2022年の枯損木、傾斜木が除伐33%列で非常に多く発生し、処理後は他の各列とも同様にha当り15,000本となっている。今後は様子を見ながらさらなる除伐を検討する予定です。

樹高調査は各列の代表木20本を対象に行いました。各列共に順調に生長し平均樹高は5m程ですが、ha当り本数が非常に多いので今後は樹高と胸高直径の関係も見たいと考えています。

【復興の森】

千歳国有林5456林班では2007年から石狩森林管理署と協定を結び、トドマツの植林、下草刈りを継続してきました。2022年度に苗の生長が確認できたと野幌森林公園内の活動が忙しくなったので、協定の延長を中止しました。会員の中から久しぶりに様子を見たいとの要望がありましたので、石狩森林管理署の許可を得て2年ぶりに訪れ、作業道の草刈り、生長調査、一部の下枝刈りを行ってきました。

(文・樫棒)